

各 位

国立国会図書館オンラインのサービス開始にともない、「考える 伝える 分かちあう 情報活用力（第4版）」の下記ページに変更が生じました。差し替えページを作成いたしましたので、差し替えの程よろしくお願い申し上げます。

ページ	変更箇所
P.6 2) 図書館の OPAC を使った書籍 検索	<ul style="list-style-type: none">・NDL-OPAC を国立国会図書館（NDL）オンラインに変更・国立国会図書館サーチを追加・Webcat Plus の説明文の変更

2) 図書館の OPAC を使った書籍検索

効率よく情報を収集するのに便利な Web サイトは、他にもたくさんあります。

ここでは図書館の **OPAC** (Online Public Access Catalog) を利用してみましょう。OPAC とは、図書館が所蔵する図書目録をデータベース化し、インターネットなどを通じてオンラインで検索できるようにした **蔵書検索システム** のことです。

図書館で資料を探すには、実際に図書館に足を運んで本棚を自分で探す、司書などの図書館職員に相談して探してもらうなどの方法がありますが、手間や時間がかかってしまうこともあります。OPAC を利用すれば、図書館に目的の資料があるかどうかや他に役立つ資料があるかを事前に確認できるので、効率よく資料を入手することができます。

《OPAC の例》

各図書館の OPAC (蔵書検索システム)	それぞれの図書館が提供する OPAC。図書館や運営組織の Web サイトなどからリンクされている場合が多い。
国立国会図書館 (NDL) オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/	国立国会図書館 (NDL) が提供する OPAC。国立国会図書館の所蔵資料および国立国会図書館で利用可能なデジタルコンテンツを検索できる。国会図書館では国内出版物の収集を行っているため、ほぼ全ての国内出版物を検索できることになる。
国立国会図書館サーチ http://iss.ndl.go.jp/	国立国会図書館 (NDL) が提供する統合検索サービス。国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できる。
Webcat Plus http://webcatplus.nii.ac.jp/	国立情報学研究所 (NII) が提供。参加機関の所蔵資料の一致検索の他、連想検索といったユニークな検索手段も提供している。 また国立国会図書館サーチや日本の古本屋 (古書データベース) などとも連携しており、幅広い検索ができる。

例題 1

国立国会図書館が提供する横断検索システム「国立国会図書館サーチ (NDL Search)」を使って、タイトルに「情報検索」を含む、「図書館」が出版した書籍を検索してみましょう。

<手順>

1. ブラウザーを起動して、国立国会図書館サーチの Web サイト (<http://iss.ndl.go.jp/>) を開く
2. 中央の **【詳細検索】** をクリックする

